

あれから10年。

振り返ってみれば月日が過ぎるのは早いもので遅々として進まなかった復興復旧は10年もすればだいぶ進んでいます。地域の住民は非可住区域を除いた可住区域に震災前の約八割程度戻ってきました。新しく避難道路や五階建ての復興住宅4棟ができ、沿岸の防波堤、津波防止の高盛の道路、港湾や運河の整備、慰霊碑の建立、町内会館の建設も完了し、町内会活動の復活も叶いました。

10年前の震災、津波。平穏な生活が一瞬にして奪われ前途を悲観した地域住民は、成す術を失い露頭に迷いました。そんな中ヤマギシの皆さんの三か月にわたる炊き出し、大変有難く思いました。新鮮な野菜、肉、牛乳、そして何よりもヤマギシの方々の献身的な活動は私共被災した者にとって希望の光でした。お陰様で何とか10年頑張ってきました。今になって当時を振り返ればつらい時期でありながら楽しくもありました。津波が仲立ちしたヤマギシの皆さんとのつながりに何かの縁を感じます。皆さんのことは一生忘れずにはありません。本当に有難うございました。

時節柄コロナ禍等の感染症、充分お気を付けていただいて健やかに過ごしてください。

令和3年3月

阿部 貞男

